

中一、二、三

あまりにも寂しさがつのるので、庵から出て  
辺りを見渡してみると、どこも同じように寂しい、  
秋の夕暮れがひろがっていた。

良暹法師（七十番）

秋の夕暮れ

眺むればいづこも同じ

寂しさに宿を立ち出でて

中心を考えて、続く様に。